

心のバリアフリー教育

○心のバリアフリー教育とは

これまでのオリンピック・パラリンピックを活用した教育の成果を無形のレガシーとして受け継ぎ、共生社会の形成を目指して学校と地域等が連携・協働し、障害のある人や高齢者等を含めた他者の理解を深めるとともに、パラスポーツなどを通じて、相互に支え合い、認め合える心を育てる教育のことです。

心のバリアフリー教育 グッドプラクティスの顕彰校

県教育委員会では、心のバリアフリー教育を推進しており、各校においてパラスポーツ体験や講演会の実施、ボランティア活動や障害者理解促進、手話による交流等を行っています。

また、その取組において他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「心のバリアフリー教育グッドプラクティス」として顕彰しています。

顕彰名	学校名
最優秀賞	四街道市立山梨小学校
優秀賞	船橋市立行田西小学校
	白井市立白井第二小学校
	芝山町立芝山小学校
	君津市立周南中学校
	千葉県立東金商業高等学校
奨励賞	流山市立西深井小学校
	館山市立船形小学校
	市川市立第七中学校
	柏市立逆井中学校
	神崎町立神崎中学校
	長柄町立長柄中学校
	千葉県立夷隅特別支援学校



令和5年度 最優秀賞校(四街道市立山梨小学校)
表彰状及び記念品の授与式

最優秀賞校に決定した四街道市立山梨小学校では、保護者の協力によるキャリア教育と教科横断的な福祉教育講座の実施や地域の協力による車いす体験や高齢者疑似体験等を実施しており、保護者や地域の力を活用した実践は、大変素晴らしいものでした。